

第 85 回技術懇談会の記録

1. 日時・場所

平成 25 年 10 月 22 日(火) 15:00～ 化学工学会会議室 参加 20 名

2. 講演テーマ及び講演記録

(1) 「定圧空間を利用した中高年の健康管理」

講師 加治 久継氏 SCE・Net 会員 低圧室けあふ大分代表 元株式会社クレハ
講演要旨

演者は、主として中高年を対象に、低圧室を利用した健康回復の活動を行っている。

低圧室は、当初運動選手の高地トレーニングを簡易な施設で行えるように開発されたものであるが、この装置による血流の上昇や、体温の上昇が、一般の人の健康回復に効果があることが判明し、健康回復施設として現在徐々に拡がりをみせている。

低圧室では気圧を 13 分ほどで約 3500メートルの高地に相当するまで下げ、その状態を 18 分ほど維持し、19 分で復圧する。全行程終了に 50 分を要する。低圧室に入ってきた気圧変化を体感することにより、血流が上昇すると同時に体温が上昇してくる。血流上昇は、気圧が下がることで、血中酸素濃度が低下し、それをカバーするよう自律神経が血流を上げる方向で働いているためと思われる。血流が上昇すれば、体温が上昇するのは、必然である。

こうした自律的な身体の状態変化により、我々の持っている自然治癒力が高められ、色々な症状が改善に向かう。血液が運搬する色々な物質が隅々の細胞に潤沢に行き届くことと、体温上昇により酵素の活性が高まることが身体機能の回復や、身体の再生更新に寄与し、自然治癒力が高まると考えている。

具体的な症例を紹介するが、当施設は医療施設ではないので、あくまでお客様の声として、改善例をとらえたものである。

自律神経の正常化によると思われる改善例は、不眠症、便秘、体温調節の不調などである。免疫機能の正常化による改善は、リュウマチ、喘息、アトピー等アレルギー、膠原病などである。身体各部の再生機能、代謝機能の正常化による改善は、腰痛、肩痛、膝痛、高血圧、高血糖値、外傷、鞭打ち、むくみ、冷え症等である。さらに特徴的なことは、脳の血流上昇による機能改善で、うつ病、認知症、視力低下、聴力低下、パーキンソン病等である。こうした変化を一言でいえば、若返りが起こるということである。

我々には、老化のプログラムが組み込まれているので、年を重ねるに従い、老化してゆくのはある意味仕方がないことではあるが、軽い運動で筋肉の衰えを防ぎ、バランスの良い食事を腹 7 分目で食し、物事を常に前向きにとらえて、良く笑う生活を心がければ、老化を遅らせることは可能である。癌と云う厄介なものを背負い込む人も多くなるが、老化の一つの現象ととらえ、共存を考えることも必要であろう。

我々中高年が健康と向き合うには、老化と戦うのではなく、老化を楽しむという姿勢が大事かもしれないと考える次第である。

(2)「会津ゆかりの人々」

(文責 中尾 眞)

講師 佐々木 毅氏 会津大使 会津若松市企業誘致推進員 元旭硝子株式会社
講演要旨

1. 講師のプロフィール

佐々木氏は会津に生まれ、'S41年東北大学法学部を卒業後、旭硝子に入社し、H17年退社するまで、総務畑を歩んでこられた。退職後、故郷の会津若松市より委嘱を受け、“会津大使”に就任された。“会津大使”は会津のPR活動をボランティアベースで行なうもので、現在20名程度がおられるとのこと。

2. 大震災後の状況

会津若松市は観光がメインの収入源であるが、大震災後、福島原発の風評被害を受けて、観光客が激減した。特に小・中学校の修学旅行が大幅に減ってしまった。

NHKの“ハ重の桜”の人気でかなり回復し、漸く8-9割のレベルに戻ってきた。

3. 会津ゆかりの人々

会津の精神的風土の基を築いたり、会津のこころを体現した人々が紹介され、特に、次の3人の事績について詳しい説明があった。

1) 保科正之：徳川家光の異母弟で、会津藩の藩祖。江戸幕府の中枢にあり、多くの政治決断を行なうとともに、領内でも改革を行なった。有名な家訓(カキン)十五か条も彼が定めた。現代でも通用する教えであるが、第一条の徳川家への忠節を命じる定めが戊辰戦争での悲劇の発端になったと言っても過言ではない。第四条“婦人女子の言は一切聞いてはならない“は異質であるが、側室の愚かな不始末を受けての教えである。

2) 田中玄宰：江戸後期、傾いた藩財政を立て直すと共に、藩校日新館を作った。修身教育にも心を注ぎ、什(ジュウ)の掟を定めた。有名な‘ならぬことはならぬものです“はこの掟の締め言葉である。

3) 伊東正義：戦後の政治家であるが、地元の利益誘導は一切行わず、落選の憂き目にあった。リクルート事件による竹下退陣の際、首相就任の打診を受けたが、“本の表紙だけを変えても中身が変わらなければ駄目だ”と言って断ったのは“会津っぽ”の真骨頂である。